

現地研修会（平成25年6月21日）

横浜市

第23回住宅市街地整備推進協議会全国会議 現地研修会スケジュール

日時 平成25年6月21日(金)9:00～12:00

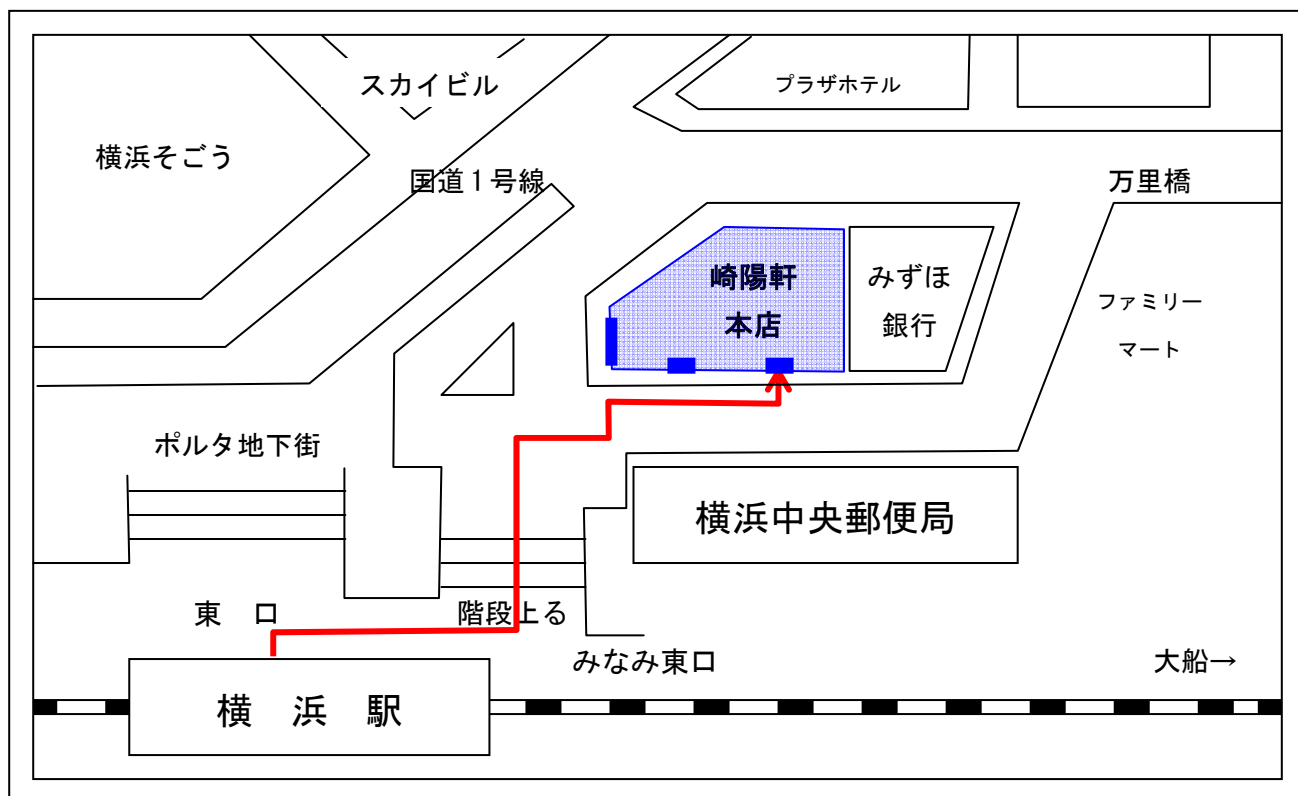
研修場所 ヨコハマポートサイド地区(住宅市街地総合整備事業)
アメリカ山公園(立体都市公園整備事業)

行程	受付開始	8:30
	集合(崎陽軒本店 6階会議室)	9:00
	概要説明	9:00～9:45
	ヨコハマポートサイド地区視察	9:45～11:00
	シーバス乗船	11:10～11:45
	アメリカ山立体都市公園視察	11:50～
	解散(みなとみらい線元町・中華街駅)	12:00

○ 現地研修会 集合場所(説明会場)案内図

崎陽軒本店 6階会議室

横浜市西区高島2-13-12



第 23 回住宅市街地整備推進協議会全国会議 現地視察箇所



(緊急連絡先)

TEL 080-1347-5562

横浜市都市整備局 市街地整備調整課 井波

いえ・みち まち 改善事業



平成25年6月21日
横浜市都市整備局
地域まちづくり課

いえ・みち まち 改善事業



密集住宅市街地における防災まちづくり

防災上課題のある密集住宅市街地において、
住民との協働により計画をつくり、
狭あい道路拡幅、広場・公園整備、建替促進
などを段階的に推進し、
防災性の向上及び住環境の改善をはかります。

1 密集市街地改善の取組の背景



都市再生プロジェクト 第3次決定（平成13年12月）

密集市街地(全国約25,000ha)のうち、特に危険な市街地を
「重点密集市街地」(全国約8,000ha)として、
平成23年度末までに最低限の安全性を確保

「重点密集市街地」の分布状況(平成15年7月国土交通省調べ)

都道府県別		市町村別		
都道府県名	面積(割合)	市区町村名	地区数	面積(割合)
①東京都	2,339ha(30.1%)	①大阪市	22地区	1,360ha(17.1%)
②大阪府	2,295ha(28.8%)	②横浜市	23地区	660ha(8.3%)
③神奈川県	749ha(9.4%)	③京都市	59地区	364ha(4.6%)
④千葉県	474ha(5.9%)	④長崎市	5地区	297ha(3.7%)
⑤京都府	373ha(4.7%)	⑤豊中市	2地区	255ha(3.2%)
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
合 計	7,971ha(100%)	合 計	400地区	7,971ha(100%)

1 密集市街地改善の取組の背景(参考)



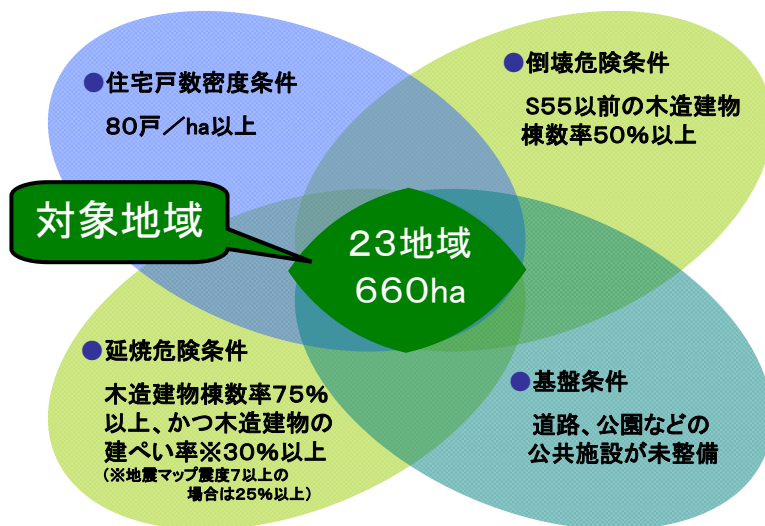
住生活基本計画(全国計画)の全部変更（平成23年3月）

「新重点密集市街地」(全国約6,000ha)を
平成32年度までに概ね解消

「新重点密集市街地」の分布状況(平成24年3月国土交通省調べ)

都道府県別		市町村別		
都道府県名	面積(割合)	市区町村名	地区数	面積(割合)
①大阪府	2,248ha(39.1%)	①大阪市	1地区	1,333ha(23.2%)
②東京都	1,683ha(29.3%)	②横浜市	23地区	660ha(11.5%)
③神奈川県	690ha(12.0%)	③東京都墨田区	19地区	389ha(6.8%)
④京都府	362ha(6.3%)	④京都市	11地区	357ha(6.2%)
⑤長崎県	262ha(4.6%)	⑤東京都北区	21地区	270ha(4.7%)
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
合 計	5,745ha(100%)	合 計	197地区	5,745ha(100%)

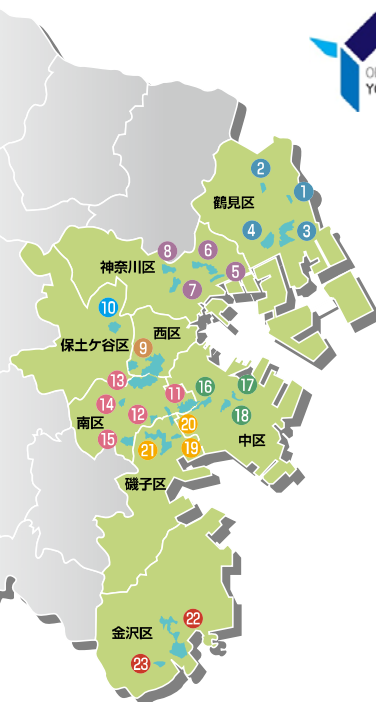
3 客観的基準に基づく地域の選定



4 事業対象地域



区	地区名	面積 (ha)
鶴見	① 市場西中町地区	6.1
	② 下末吉西丁目地区	9.1
	③ 瀬田・本町通地区	53.1
	④ 生麦四・五丁目地区	25.0
神奈川	⑤ 子安通・浦島地区	7.4
	⑥ 白幡仲町・七島町地区	28.3
	⑦ 新藤分町地区	21.9
	⑧ 六角橋一・二丁目地区	23.3
西	⑨ 西戸部町・東久保町地区	90.9
保土ヶ谷	⑩ 鶴岡町2丁目地区	22.3
南	⑪ 中村地区	45.2
	⑫ 堀ノ内町2丁目地区	11.8
	⑬ 廣台・清水ヶ丘・三春台・伏見町地区	58.7
	⑭ 井土ヶ谷上町地区	7.5
中	⑮ 大岡三丁目地区	21.6
	⑯ 山元町・柏塚地区	27.3
	⑰ 北方町地区	8.0
磯子	⑱ 本郷町3丁目地区	16.1
	⑲ 下町地区	7.5
	⑳ 上町地区	7.7
金沢	㉑ 海頭・磯子地区	52.9
	㉒ 寺前一丁目・町屋町・谷津町地区	94.9
	㉓ 六浦西丁目地区	13.4
対象地区面積		660ha



5

密集住宅市街地の現況



磯子区 滝頭・磯子地区

5

密集住宅市街地の現況



南区 唐沢・平楽・八幡町地区

5 密集住宅市街地の現況

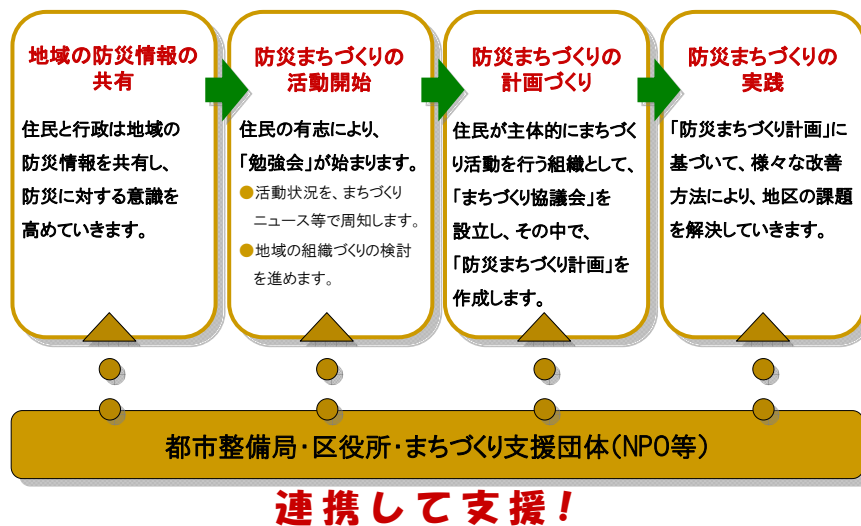


神奈川区 浦島町・子安通地区

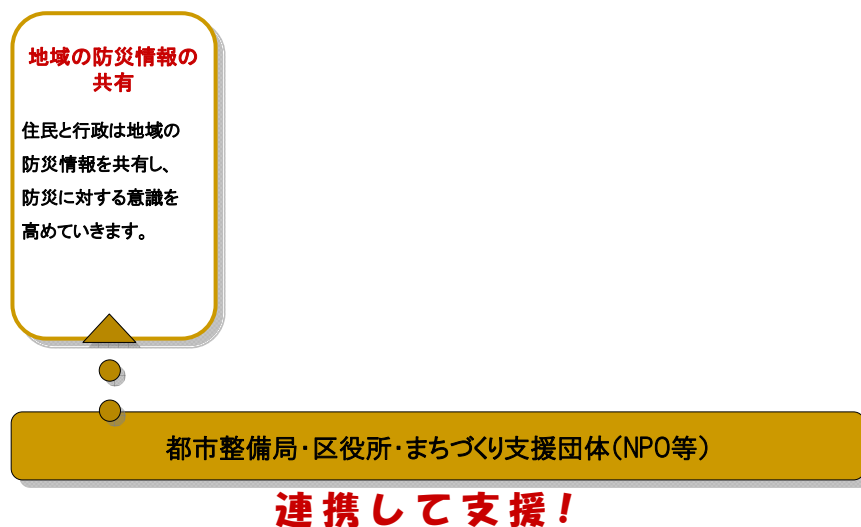
5 密集住宅市街地の現況



6 事業の進め方



6 事業の進め方(ステップ1)

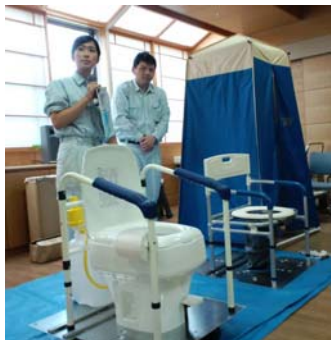


6 事業の進め方(ステップ1)



地域の防災情報の共有

住民と行政は地域の防災情報を共有し、
防災に対する意識を高めていきます。



出前塾の開催



自治会・町内会掲示板への掲示

6 事業の進め方(ステップ2)



地域の防災情報の共有

住民と行政は地域の
防災情報を共有し、
防災に対する意識を
高めていきます。

防災まちづくりの活動開始

住民の有志により、
「勉強会」が始まります。
●活動状況を、まちづくり
ニュース等で周知します。
●地域の組織づくりの検討
を進めます。

都市整備局・区役所・まちづくり支援団体(NPO等)

連携して支援！

6 事業の進め方(ステップ2)



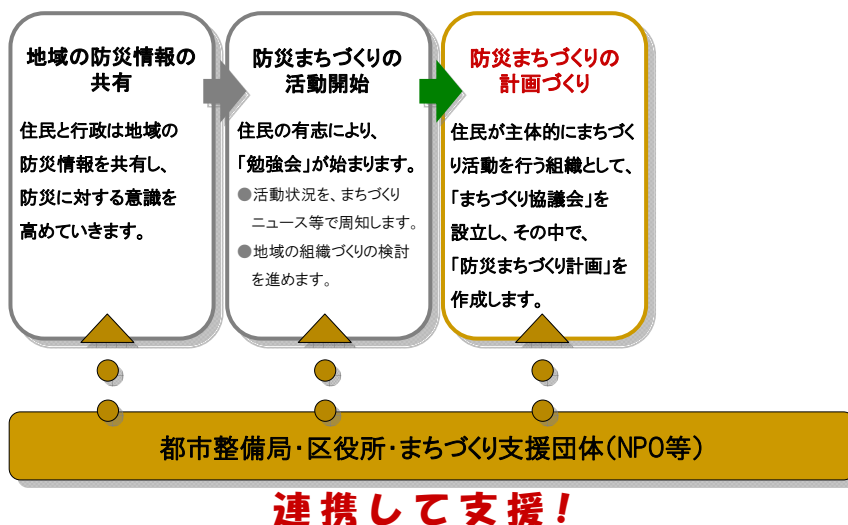
防災まちづくりの活動開始

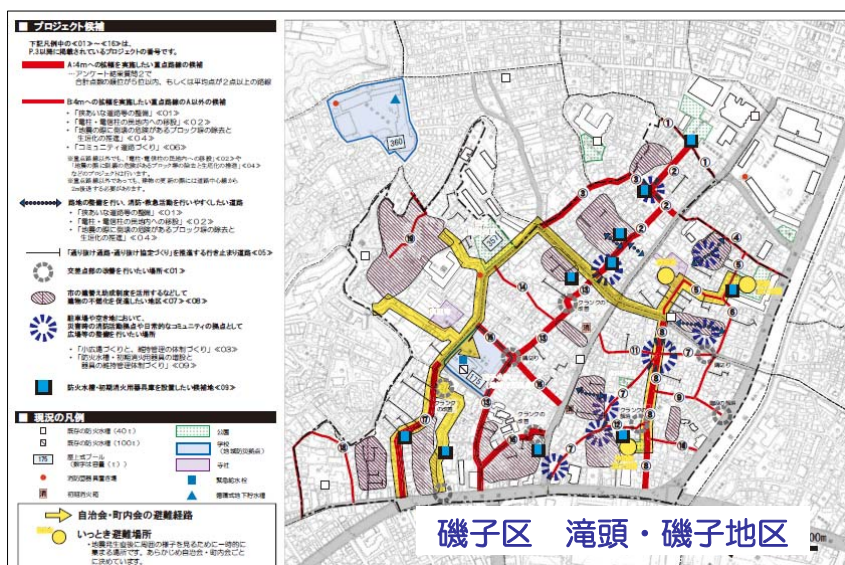
住民の有志により、「勉強会」が始まります。

- 活動状況を、まちづくりニュース等で周知します。
- 地域の組織づくりの検討を進めます。



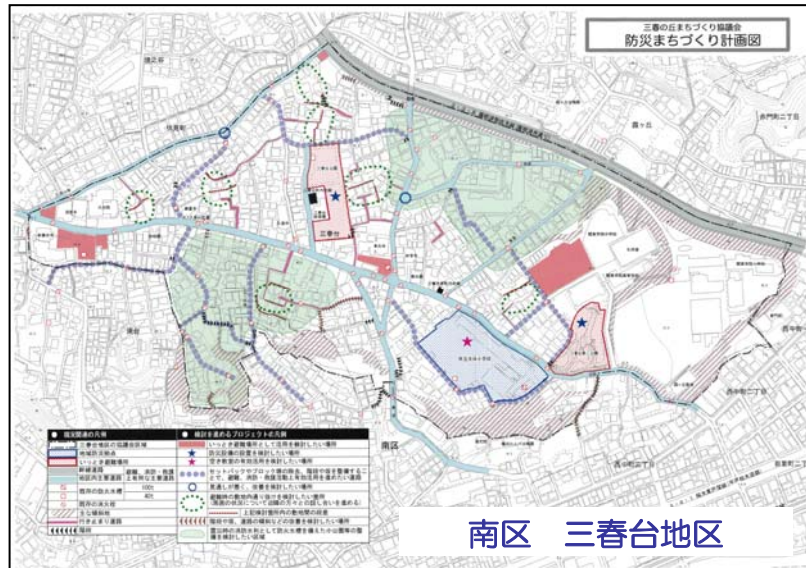
6 事業の進め方(ステップ3)





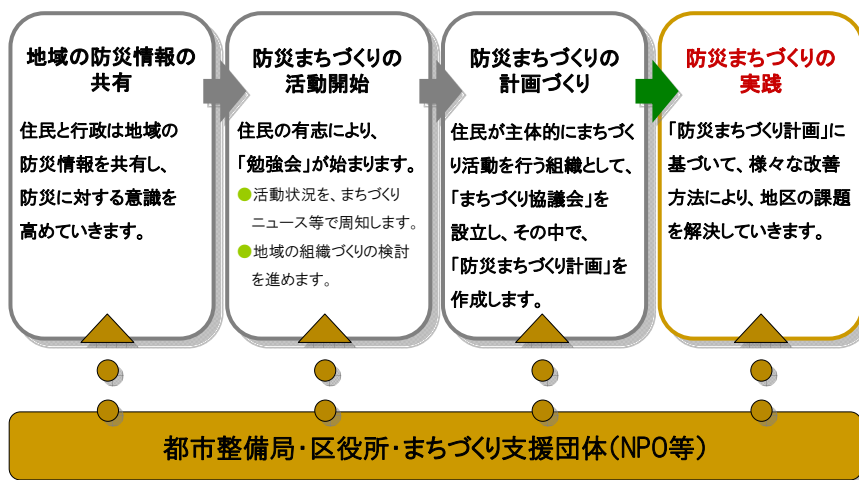
(南区) 三春の丘まちづくり協議会 防災まちづくり計画

防災まちづくり計画図



いえ・みちまち改善事業

6 事業の進め方(ステップ4)



連携して支援！

6 事業の進め方(ステップ4)



防災まちづくりの実践

「防災まちづくり計画」に基づいて、
様々な改善方法により、
地区の課題を解決していきます。



いえ

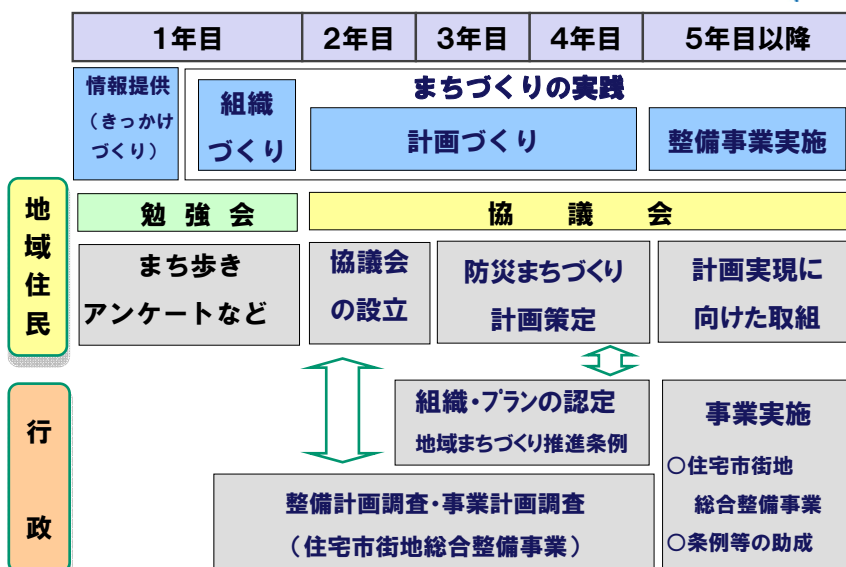


みち



まちづくり

6 事業の進め方(まとめ)



7 協議会活動地区と面積



■ いえ・みち まち改善事業対象地区

区	地区名	面積 (ha)	協議会活動地区	面積 (ha)
鶴見	① 市場西中町地区	6.1	市場西中町地区	6.1
	② 下末吉四丁目地区	9.1		
	③ 潮田・本町通地区	53.1	潮田・小野町地区	20.0
	④ 生麦四・五丁目地区	25.0		
神奈川	⑤ 子安通・浦島地区	7.4	浦島町地区	1.1
	⑥ 白幡仲町・七島町地区	28.3		
	⑦ 斎藤分町地区	21.9		
	⑧ 六角橋一・二丁目地区	23.3		
西	⑨ 西戸部町・東久保町地区	90.9	西戸部町地区	18.2
			東久保町地区	20.4
保土ヶ谷	⑩ 峰岡町2丁目地区	22.3		
南	⑪ 中村地区	45.2	唐沢・平楽・八幡町地区	40.2
			中村町5丁目地区	3.2
	⑫ 堀ノ内町2丁目地区	11.8		
	⑬ 庚台・清水ヶ丘・三善台・伏見町地区	58.7	三善台地区	22.7
	⑭ 井土ヶ谷上町地区	7.5		
中	⑮ 大岡三丁目地区	21.6		
	⑯ 山元町・柏葉地区	27.3		
	⑰ 北方町地区	8.0		
	⑱ 本郷町3丁目地区	16.1	本郷町3丁目地区	17.4
磯子	⑲ 下町地区	7.5		
	⑳ 上町地区	7.7		
	㉑ 滝頭・磯子地区	52.9	滝頭・磯子地区	38.9
金沢	㉒ 寺前一丁目・町屋町・谷津町地区	94.9	金沢南部地区	47.6
	㉓ 六浦四丁目地区	13.4		
対象地区面積		660.0	協議会活動地区(11地区)面積	235.8

8 協議会活動地区の状況



■ 協議会活動地区の状況 (H23年4月改訂)

	地区名	活動状況	勉強会開始	協議会設立	グループ登録	組織認定	計画策定	プラン認定	住宅市街地総合整備事業
整備事業実施地区 (11地区)	※1 (8地区) プラン認定地区	1. 滝頭・磯子地区	H15.10	H17.6	H17.10	H18.5	H19.6	H19.10	H20年度より
		2. 市場西中町地区	H15.11	H16.11	H17.11	H18.1	H19.7	H20.1	H20年度より
		3. 東久保町地区	H15.12	H17.7	H17.10	H18.10	H19.12	H20.4	H20年度より
		4. 西戸部町地区	H16.7	H18.6	H18.6	H20.7	H20.7	H20.7	H21年度より
		5. 本郷町3丁目地区	H17.3	H18.11	H18.11	H20.12	H20.3	H20.12	H21年度より
		6. 浦島町地区	H15.12	H17.12	H18.2	H21.11	H21.9	H21.11	H23年度より
		7. 三善台地区	H16.7	H20.11	H18.10	H21.3	H22.2	H22.3	H23年度より
		8. 金沢南部地区	H15.10	H20.8	H20.6	H22.11	H22.9	H22.11	H23年度より
	※2 (3地区) 計画策定地区	1. 潮田・小野町地区	—	H9.6	—	—	H12.1	—	H5年度より
		2. 唐沢・平楽・八幡町地区	H15.7	H15.8	—	—	H16.2	—	H16年度より
		3. 中村町5丁目地区	—	H15.8	—	—	H16.1	—	H16年度より

※1 防災まちづくり計画を策定し、条例に基づくプラン認定を受けた地区

※2 いえ・みち まち改善事業以前から取り組みを実施している地区

9 協議会設立支援地区の状況



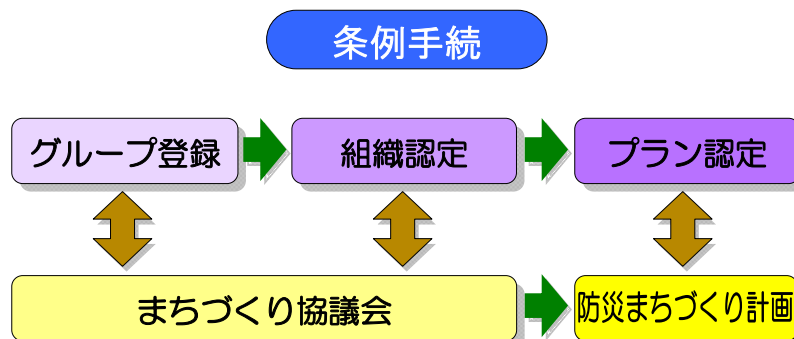
■平成25年6月現在

地区名	活動状況	勉強会開始
1 下野谷地区(鶴見区)		平成24年6月
2 六角橋商店街地区(神奈川区)		平成24年2月
3 境之谷地区(西区)		調整中
4 北方町地区(中区)		平成24年6月
5 山元町・柏葉地区(中区)		調整中
6 金沢地区(金沢区)		平成24年5月

10 横浜市地域まちづくり推進条例による手続



横浜市地域まちづくり推進条例を利用して、住民協働の防災まちづくりを推進しています。



10 横浜市地域まちづくり推進条例による支援



横浜市地域まちづくり推進条例を利用して、住民協働の防災まちづくりを推進しています。

支援

活動助成

グループ登録(組織認定)により、上限30万円/年(助成率4/5)

事業助成

組織認定により、上限250万円/年(原則、助成率9/10)
プラン認定により、上限500万円/年(原則、助成率9/10)

11 取組事例の紹介



狭あい道路 拡幅整備

整備前



整備後



唐沢・平楽・八幡町地区(平成18年度整備)

11

取組事例の紹介



狭あい道路
拡幅整備

整備前



整備後



唐沢・平楽・八幡町地区（平成20年度整備）

11

取組事例の紹介



狭あい道路
拡幅整備

整備前



整備後



唐沢・平楽・八幡町地区（平成22年度整備）

11

取組事例の紹介



広場・防火水槽 の整備

整備前



整備後



市場西中町地区（平成22年度整備）

11

取組事例の紹介



建替促進

整備前



整備後



潮田・小野町地区

11 取組事例の紹介

地域独自の整備



★災害時の水の確保

- ① 各家庭敷地内に雨水利用の貯水タンク設置(2箇所)
- ② 既存井戸に手押しポンプ設置、補強整備



【井戸】



【雨水タンク】

★ミニ防災広場の充実

- ① 西戸部町二丁目公園内にかまどベンチ設置
- ② 西戸部一丁目内三角地に雨水浸透型舗装整備



【かまどベンチ】



【三角地舗装】

11 取組事例の紹介

地域独自の整備



条例に基づく支援(禅馬ふれあい花広場)

整備前



整備後



磯子区 滝頭・磯子地区(平成18年度整備)

11 取組事例の紹介

地域独自の取組



条例に基づく支援(掲示板)



協議会の掲示板



いっとき避難場所の掲示板

11 取組事例の紹介

地域独自の取組



条例に基づく支援(ソフト事業)



防災マップの作成

11

取組事例の紹介

地域独自の取組



まちづくり協議会が開催する防災イベント



家具転倒防止グッズの紹介

11

取組事例の紹介

地域独自の取組



まちづくりニュースの発行



西区 西戸部町地区



ま と め



いえ・みち まち改善事業は...

○密集住宅市街地の**防災性の向上**と**住環境の改善**を
目的に、**地域住民と協働**して取り組んでいます。

○狭あい道路の**拡幅**や**広場・公園**などの**ハード整備**と
地域コミュニティづくりなどの**ソフト施策**を両輪として
進めています。

○「勉強会開始」→「まちづくり協議会設立」→「防災まちづ
くり計画策定」→「ハード整備等実施」と、**段階的に**進め
ています。

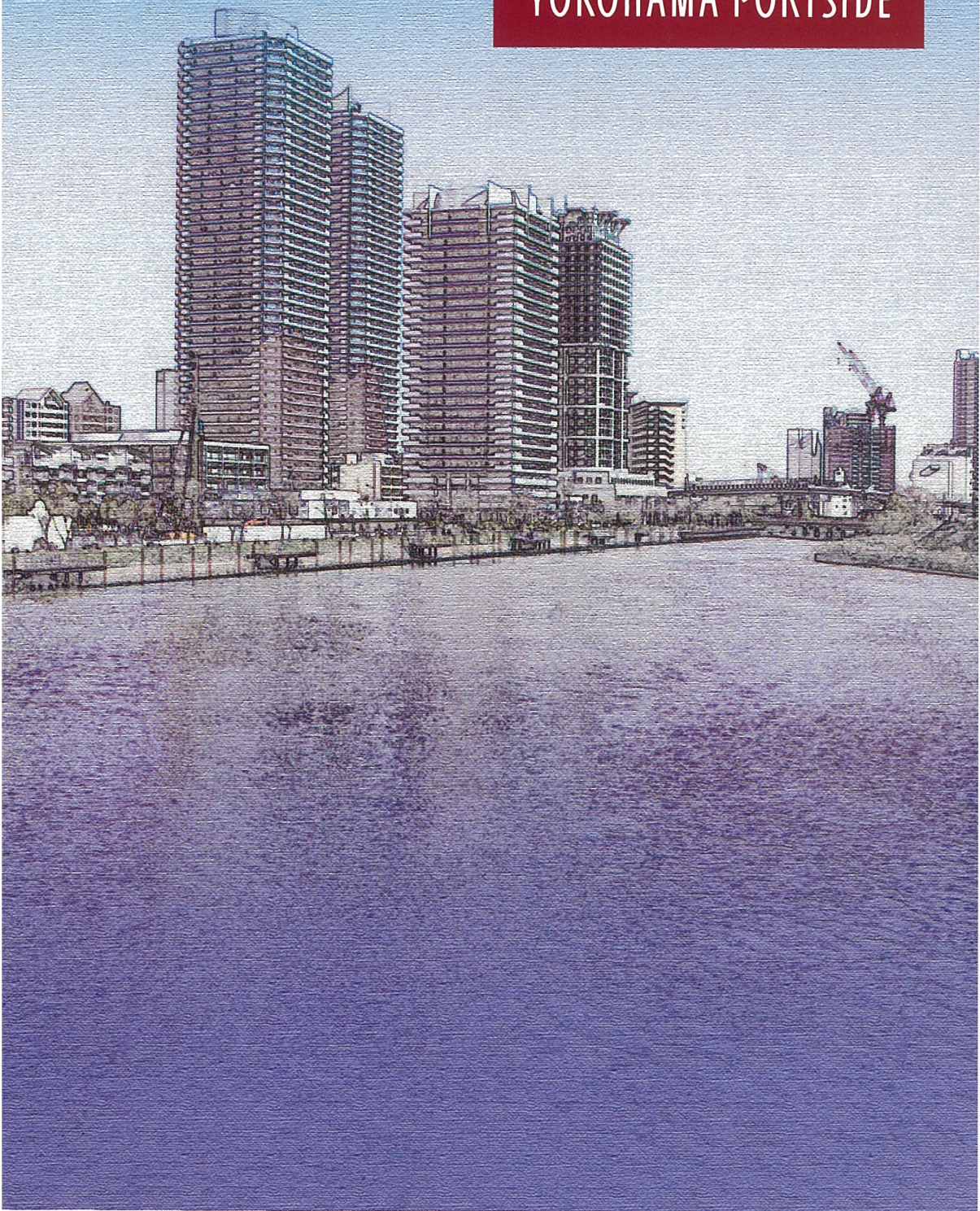
終 了

ご静聴ありがとうございました。



ヨコハマポートサイド

YOKOHAMA PORTSIDE





ヨコハマポートサイド アート & デザインの街

ヨコハマポートサイド地区では「アート&デザインの街」というコンセプトを掲げ、
横浜市のめざす“デザイン都市”のさがしかけとして、

ヨコハマの持っている歴史や文化、国際性、先進性など、
多様な要素を包含するまちづくりを行っています。

「住宅」「商業」「業務」といった街の基本的な構成要素に加え、

ギャラリー、ホール、アトリエ付き住宅、デザインオフィスなどの文化・芸術関連施設の集積を図ることにより、
創作、展示、育成、研究といった要求に応えていきます。

また、低層部、中間部、頂部の三部構成による建物形態や

低層棟、高層棟、塔状高層棟の三層構成によるスカイラインイメージ、

さらに「ブルーグリーン」「テラコッタ」というカラーガイドラインを定めているほか、

歩行者デッキやポートサイド公園等の外部空間についてもデザインに配慮するとともに、

水と緑を基調としたアメニティ豊かな都市空間を整備することにより、街の雰囲気醸成していきます。

ヨコハマポートサイド地区は、都心臨海部における、複合市街地の形成を目指し、都市基盤施設の整備とともに、都心型住宅を中心に、業務・商業・サービス・文化等の施設の集積を図ります。そのため、「住宅市街地総合整備事業」を導入し、この整備計画により地区全体の枠組みを定めています。

また、個々の開発誘導にあたっては、地区全体のマスタープランとの整合を図りつつ、計画熟度に応じて円滑に対応する手法として、再開発等促進区を定めた地区計画を導入しています。

さらに、きめ細やかなまちづくりを推進するための共通ルールとして、地区内の主要地権者等により、「街づくり協定」が締結されています。

同時に、この協定の推進運営母体として、「街づくり協議会」を組織し、民間の創意・工夫を最大限に発揮しつつ特色あるまちづくりを推進しています。

今後ともヨコハマポートサイド地区は、国際文化都市ヨコハマにふさわしい、賑わいと活力のある新都心地区の形成をめざしていくと共に、新しく住民となった人たちのための快適な生活環境づくりを目指します。

住宅市街地総合整備事業

S61.3.3認可。H16.10.28変更認可

大都市の既成市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成及び職住近接型の良質な市街地住宅の供給を推進するため、住宅の建設や公共施設の整備等を総合的に支援する制度（国土交通省制度要綱）。ヨコハマポートサイド地区（約25.1ha）では、昭和61年に整備計画の建設大臣承認を受け、街路・公園・護岸・歩行者デッキ等の都市基盤整備とともに、横浜の都心部にふさわしい良好な住宅建設を推進しています。

地区計画 H2.8.7決定。H3.2.22・H4.7.24・H8.5.10・H13.10.5・H16.8.5・H17.3.15変更

工場跡地等の大規模空間地において土地利用転換を円滑に推進するため、都市基盤施設及び建築物等に関する計画を一体的かつ総合的に定めることで、都市の良好な資産を形成するプロジェクトを具体化した段階にあわせて誘導する制度です。

ヨコハマポートサイド地区では、大規模開発が想定される主要街区（約18.5ha）を対象として、平成2年に都市計画を決定しました。また、各街区の事業熟度に応じ、順次整備計画（容積率、高さ、外壁後退等の詳細規定）を定め、開発誘導を図っています。これにより「アート&デザインの街」に貢献する施設整備を行う場合に容積率の加算が受けられます。

ヨコハマポートサイド街づくり協定・協議会

H元.12.6～

ヨコハマポートサイド街づくり協定は、地区の開発コンセプトである「アート&デザインの街」の実現に向け、街づくりに係る基本的価値観や課題を共通認識するため、主要街区（約18.5ha）における街づくりの基本事項を定めたものです。その内容は、土地利用計画などの街づくりの基本方針から、都市基盤施設整備、建築計画、さらに供給処理施設、環境対策、駐車場計画や街の維持管理といった都市管理に至るまで、多岐にわたっています。また、この協定の推進運営母体として、区域内関係者により街づくり協議会が設立され、地区整備に必要な調査・地区セールス活動・都市基盤施設整備の推進（高次インフラ）等を共同で行い、魅力的な街づくりを推進しています。

公益信託

「ヨコハマポートサイドまちづくりトラスト」

H7.3.31～

ヨコハマポートサイド地区の振興と活性化を図り、快適で文化的なふれあいのある街の創造に寄与するため、平成7年3月31日に発足しました（信託財産6億円）。街づくりに必要な環境整備、調査研究、街づくりに寄与するイベント、広報活動等を行う個人または団体に対して、資金面での援助を行っています。

公共施設の整備



1 みなとみらい大橋

橋長223m、幅員40m、H9年度に完成



2 スカイウェイ

安全で快適に歩行者を誘導する空中系回遊動線として整備



3 栄本町線と地下駐車場

みなとみらい21地区へつづく幅員40mの都市計画道路と200台収容できる駐車場を整備



4 金港公園

市民・学生のワークショップを経て、岡本教生のコーディネートにより整備



5 ギャラリーロード

街に集う人々に「アート&デザインの街」を印象づけるプロムナード



6 ポートサイド公園

H3年度に公開コンペを実施。長谷川浩己の作品に決定。H7年度より着工



7 栄町グリーンウォーク

鋼管桁を利用し、柔らかでシンプルなデザインを施した歩行者デッキ



8 神奈川公園

地区の整備に併せて、より活動的な利用が可能となるようH12・13年度に再整備

ヨコハマポートサイド地区開発イメージ図

- 住宅市街地整備総合支援事業
- 再開発地区計画
- ヨコハマポートサイド地区 第二種市街地再開発事業
- ヨコハマポートサイドF-1街区 第一種市街地開発事業



街区開発の状況



9 IDC国際デジタル通信センター



10 アートグレイス・ポートサイドヴィラ



11 三菱重工ポートサイドビル



12 都市整備公団アルデ横浜



13 ポートサイドサクラビル



14 横浜クリエーションスクエア (YCS)



15 ロア吉番館・式番館・参番館



16 ヨコハマポートサイドビル



17 神奈川トヨタmyX (マイクス) ビル



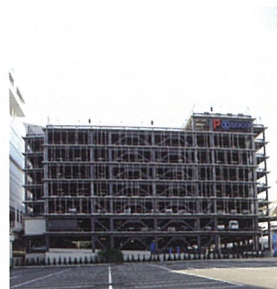
18 F-1街区



19 F-2街区



20 栄11街区



21 A-1街区



22 ベイクォーター



23 (仮)パークタワー横浜ポートサイド(イメージ図)



24 (仮)ヨコハマポートサイドC-3街区開発計画(イメージ図)

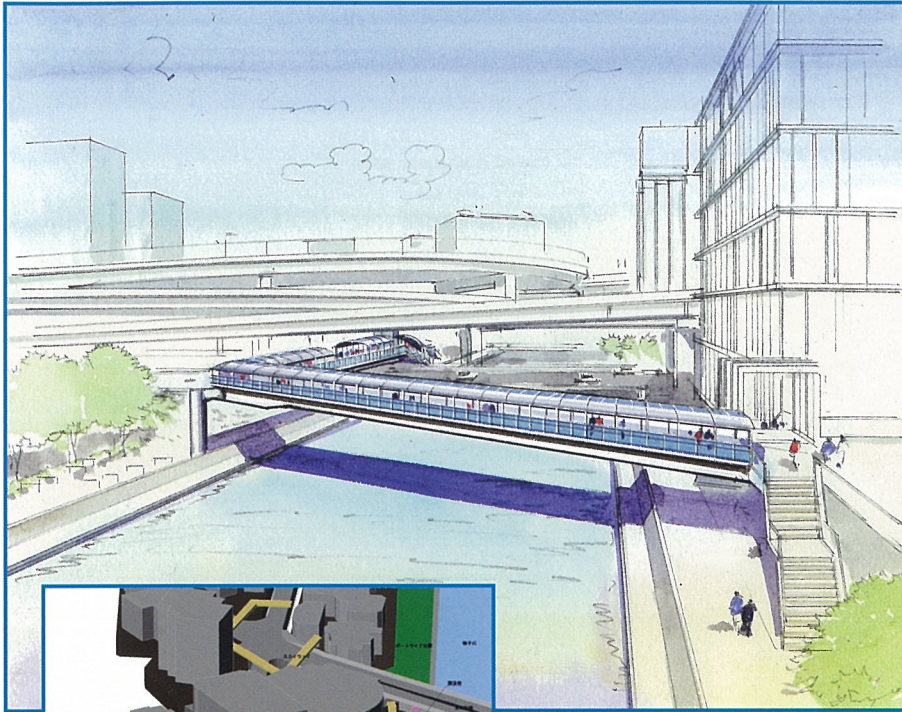


25 (仮)京急開発ポートサイドビル(イメージ図)



26 (仮)モリモト横浜ポートサイドビル(イメージ図)

これからのポートサイド



▲完成イメージ



▲現況

横浜駅とポートサイド地区を結ぶ歩行者専用デッキの工事が平成17年度末から始まりました。

このデッキは、ポートサイド地区に最も近い駅出入口である横浜駅きた東口Aとポートサイド開発地の一角、A-3街区（商業棟ヨコハマ・ベイクォーターと高層住宅棟ナビユーレ横浜）とを結ぶもの。完成すると国道1号線と帷子側分水路を跨ぐ、幅員約6.5m、延長約154mの歩行者専用道路で、完成予定は平成21年度中です。

◀デッキのイメージ図

下の写真と右表のとおり5つの街区で現在建設工事が進行中。

旧YCAT用地の跡地開発を除くと、地区内の空地状況の土地がなくなります。

施設名等	街区	主要用途	進捗状況	番号
A-3街区開発計画	A-3街区	業務	平成21年12月完成予定	①
A-2街区開発計画	A-2街区	商業・業務	平成20年4月完成	②
B-1街区開発計画	B-1街区	商業・業務	平成20年4月完成	③
B-2街区開発計画	B-2街区	(1) 商業・業務	平成22年3月完成予定	④
		(2) 商業・住宅	平成20年6月完成	⑤
横浜市住宅供給公社	C-3街区	業務・住宅・保育所	平成21年3月完成予定	⑥



主要経緯

昭和56年	7月	都心臨海部総合整備基本計画発表
60年	12月	幹線街路「栄本町線」の都市計画決定
61年	3月	住宅市街地整備総合支援事業「整備計画」の建設大臣承認 (当初、特定住宅市街地総合整備促進事業、平成10年に名称変更)
	12月	第二種市街地再開発事業の都市計画決定 (中央ゾーンの約4ha)
63年	4月	まちづくりのコンセプト「アート&デザインの街」発表
	7月	第二種市街地再開発事業の事業計画決定
平成元年	5月	IDC国際通信センター竣工 (C街区)
	12月	ヨコハマポートサイド街づくり協定の締結 ヨコハマポートサイド街づくり協議会の設立
2年	3月	第二種市街地再開発事業の建築工事着手 (E-1～3街区)
	7月	第二種市街地再開発事業の管理処分計画決定 (第1街区業務棟保留床の処分が、企画コンペにより三井・相鉄グループに決定)
	8月	ヨコハマポートサイド地区再開発地区計画の都市計画決定
3年	2月	ポートサイド公園の都市計画決定
	8月	ポートサイド公園の設計コンペの実施 (～平成4年3月)
4年	12月	都市基盤整備公団賃貸住宅「アルテ横浜」入居開始 (D-2街区)
6年	3月	第二種市街地再開発事業の建築工事完了
7年	3月	公益信託「ヨコハマポートサイドまちづくりトラスト」が発足
	12月	神奈川トヨタ「myXビル」竣工 (E-4街区)
8年	3月	三菱重工ポートサイドビル竣工 (D-2街区)
	7月	神奈川区栄11街区再開発研究会設立 (平成12年5月、栄11街区再開発協議会に名称変更)
9年	7月	栄本町線の暫定開通

平成10年	3月	横浜市ポートサイド地下駐車場完成
	9月	ヨコハマポートサイドF-1街区 第一種市街地再開発事業の都市計画決定
	12月	ヨコハマポートサイドF-1街区 第一種市街地再開発事業の組合設立認可
11年	3月	ポートサイド公園竣工 ポートサイドスクラビル竣工 (D-3街区)
	8月	ヨコハマポートサイドF-1街区 第一種市街地再開発事業の権利変換計画認可
	9月	ヨコハマポートサイドF-1街区 第一種市街地再開発事業の建築工事着手
	11月	スカイウェイの暫定供用開始
12年	12月	栄町グリーンウォーク完成、供用開始
13年	11月	アートグレース・ポートサイドヴィラ竣工 (C街区)
	12月	栄11街区の建築工事着手
14年	2月	F-2街区の建築工事着手
	5月	栄本町線の全面開通
15年	3月	栄11街区 (F-2街区) アミティ横浜竣工
	11月	F-1街区再開発ビル (ザ・ヨコハマタワーズ) 竣工
16年	2月	MM21線開通。横浜駅「きた通路」、「みなみ通路」の開通
	10月	住宅市街地総合整備事業の変更認可
	11月	A-3街区の商業棟と住宅棟が着工
17年	11月	A-1街区の中外倉庫 (そごうパーキング館) ビル竣工
18年	1月	B-2 (2) 街区の住宅・商業棟が着工
	2月	横浜駅ポートサイド連絡デッキ着工
	8月	A-3街区商業棟 (横浜ベイクォーター) 竣工
		B-1街区業務・商業棟が着工
	11月	C-3街区住宅・商業棟着工
19年	3月	A-3街区住宅棟 (ナビュレ・横浜) 竣工



計画概要

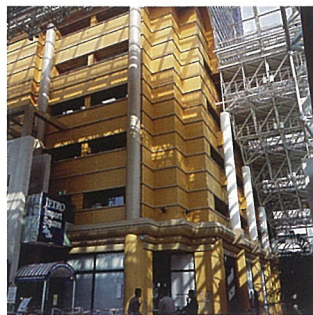
【地区名称】	ヨコハマポートサイド
【計画区域】	約25.1ha
内訳	住宅地 約8.3ha 商業地・業務地 約4.8ha 公園・緑地 約3.4ha 道路 約7.7ha 河川その他 約0.9ha
【計画人口】	約11,400人 昭和60年1,007人、平成14年3,466人
【計画戸数】	約3,950戸 昭和60年391戸、平成14年1,414戸
【整備期間】	昭和60年度～



アート&デザインの の 施設



27 「ザ・ウィンドウ」
マイケル・グレイブス



28 YCSアトリウム
(YCSビルの吹抜部)



29 ヨコハマポートサイド
ギャラリー



30 「ザ・ファミリー」
エットレ・ソットサス



31 横浜ディスプレイ
ミュージアム



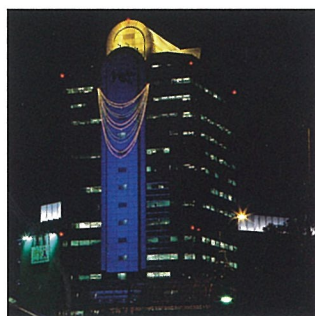
32 「黄金の季節」 高田洋一
(F-1街区)



33 「風の道」 AZUMI
(F-1街区)



34 「カップル」
ナディム・カラム



35 ライトアップ
(YCSビル)



36 YCSデザインライブラリー



ヨコハマポートサイド

「ロゴマーク」
太田徹也 (デザインコンペ実施)

アート&デザインの の 活動



37 SOLFEGGIO 101ワーク
ショップ (幸ヶ谷小学校)



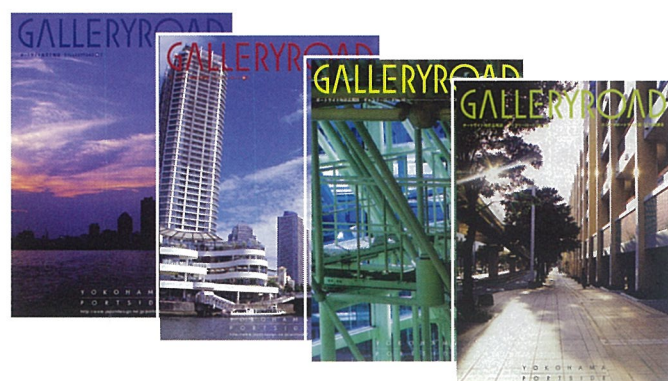
リビングアートセレクション



クリスマスフェスティバル



アート緑日
(例年10月初旬~中旬開催)



●企画・発行●

横浜市都市整備局

2008年7月発行

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
横浜市都市整備局都市再生推進課
TEL045-671-2693

●デザイン 有限会社クロスロード

横浜市広報印刷物登録第180407号
種別・分類 C-JJ080



古紙配合率50%再生紙を使用しています

アメリカ山公園の概要

アメリカ山公園は、本市を代表する観光地である「港の見える丘公園」や「外国人墓地」、「山手西洋館」などのある山手地区と、独自のブランドを多く展開する商店街のある元町地区とを結ぶ場所に位置しています。しかし、この両地区の間には、約 18m の高低差があるため、歩行者動線計画上の課題となっていました。

そこで、平成 16 年の都市公園法の改正により創出された立体都市公園制度を活用して、みなとみらい線「元町・中華街駅」駅舎の上部空間と、隣接する公園用地を公園として一体的に整備し、都心部の緑地とオープンスペースを確保するとともに、エスカレーターとエレベーターによるバリアフリー化や飲食店や物販店などの便益施設の設置など、両地区を結ぶ歩行者動線の確保と利便性の向上、元町・山手地区の活性化を図ります。

具体的には

- ・既存駅舎を 2 階建てから 4 階建てに増築（公園施設）
- ・公園用地内に駅舎 3F・4F と一体となる地下建物を新築（公園施設）
- ・屋上部分を含め、全体を公園として整備

《アメリカ山公園概要》

- (1) 所在地 : 横浜市中区山手町 97 番地 1
- (2) 公園種別 : 風致公園
- (3) 公園面積 : 全体 5,520 m²（園地部分 4,630 m²、駅舎敷地部分 890 m²）
- (4) 建築面積 : 1,154 m²
- (5) 延べ床面積 : 3,954 m²
- (6) 名称の由来 : 当該地は、明治期初頭の米国公使館ゆかりの土地であり、戦後は、米軍の施設用地として利用された等の歴史を持つことから、山手地区の「フランス山」「イタリア山」などと同様に「アメリカ山」と命名しました。
- (7) 整備スケジュール
建築工事 平成 19 年 6 月～平成 21 年 4 月
造園工事 平成 21 年 1 月～平成 21 年 8 月
一部開園 平成 21 年 8 月 7 日 午前 10 時～
- (8) 開園時間 午前 6 時～午後 11 時（H21.8 現在）



▲建築工事着工前（H18.9）



▲工事完了時（H21.8）

アメリカ山公園 整備事業概要

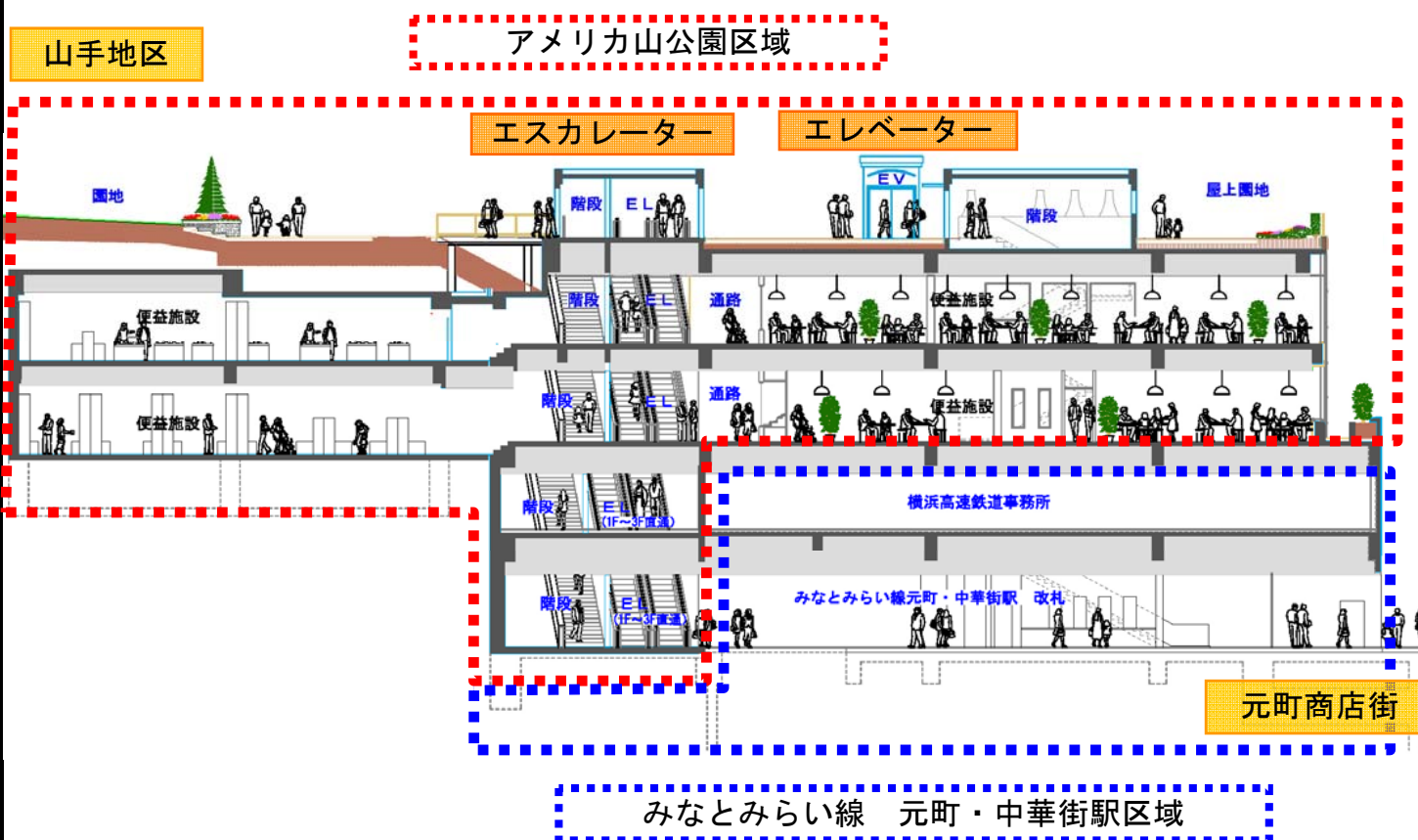
公園周辺図



マリンタワーから撮影した写真



断面イメージ

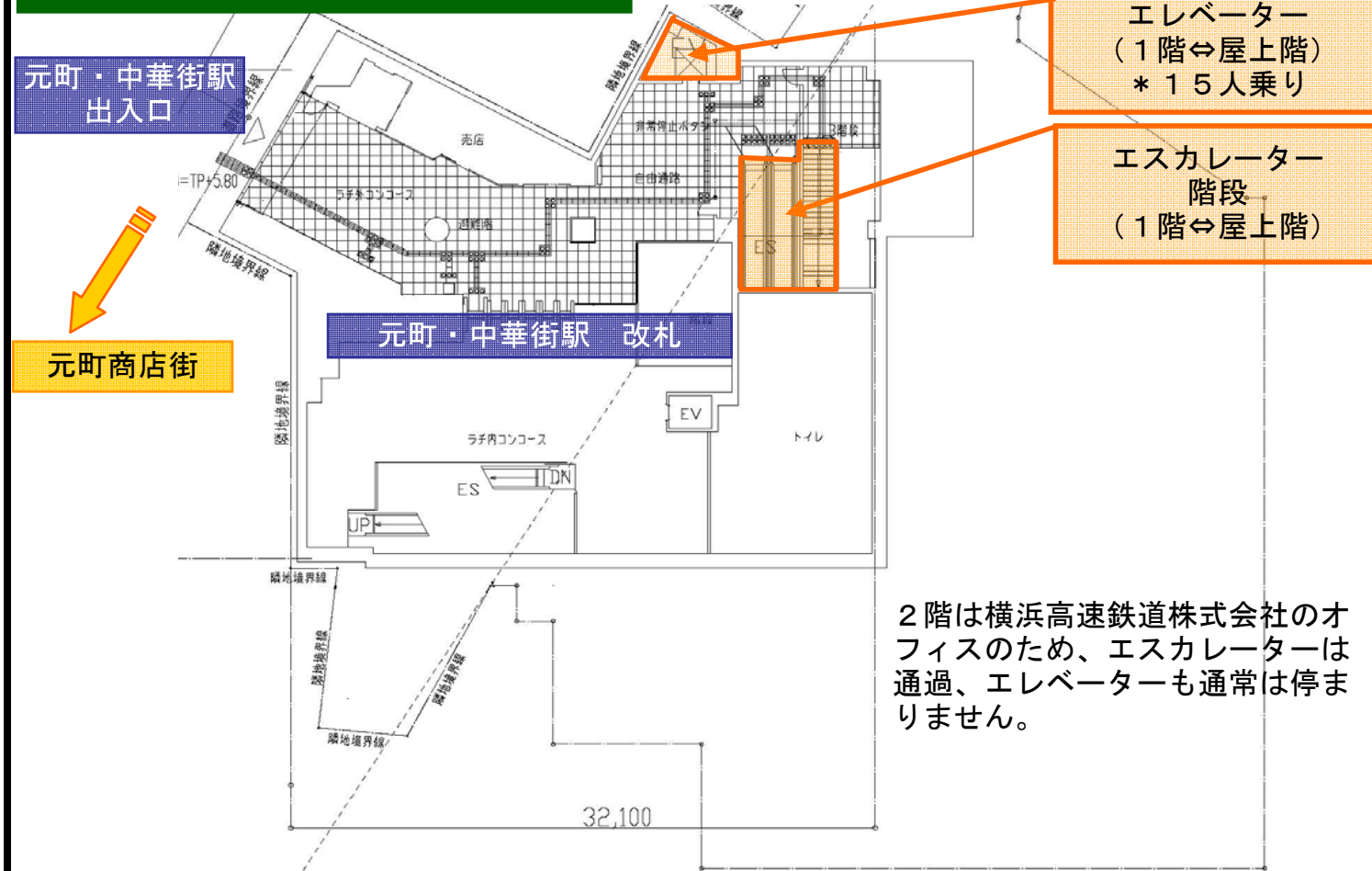


園地平面図

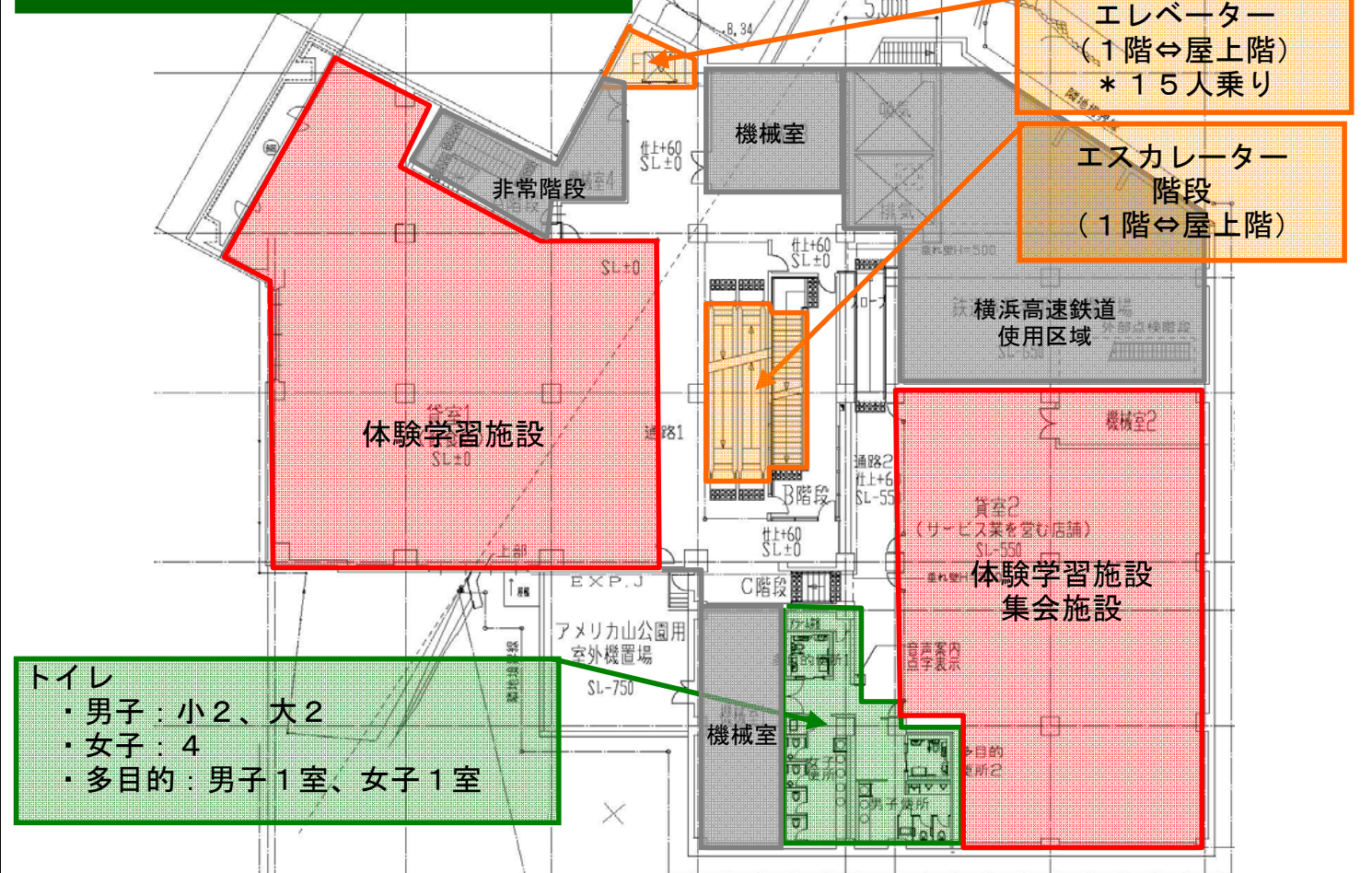


アメリカ山公園 建物概要

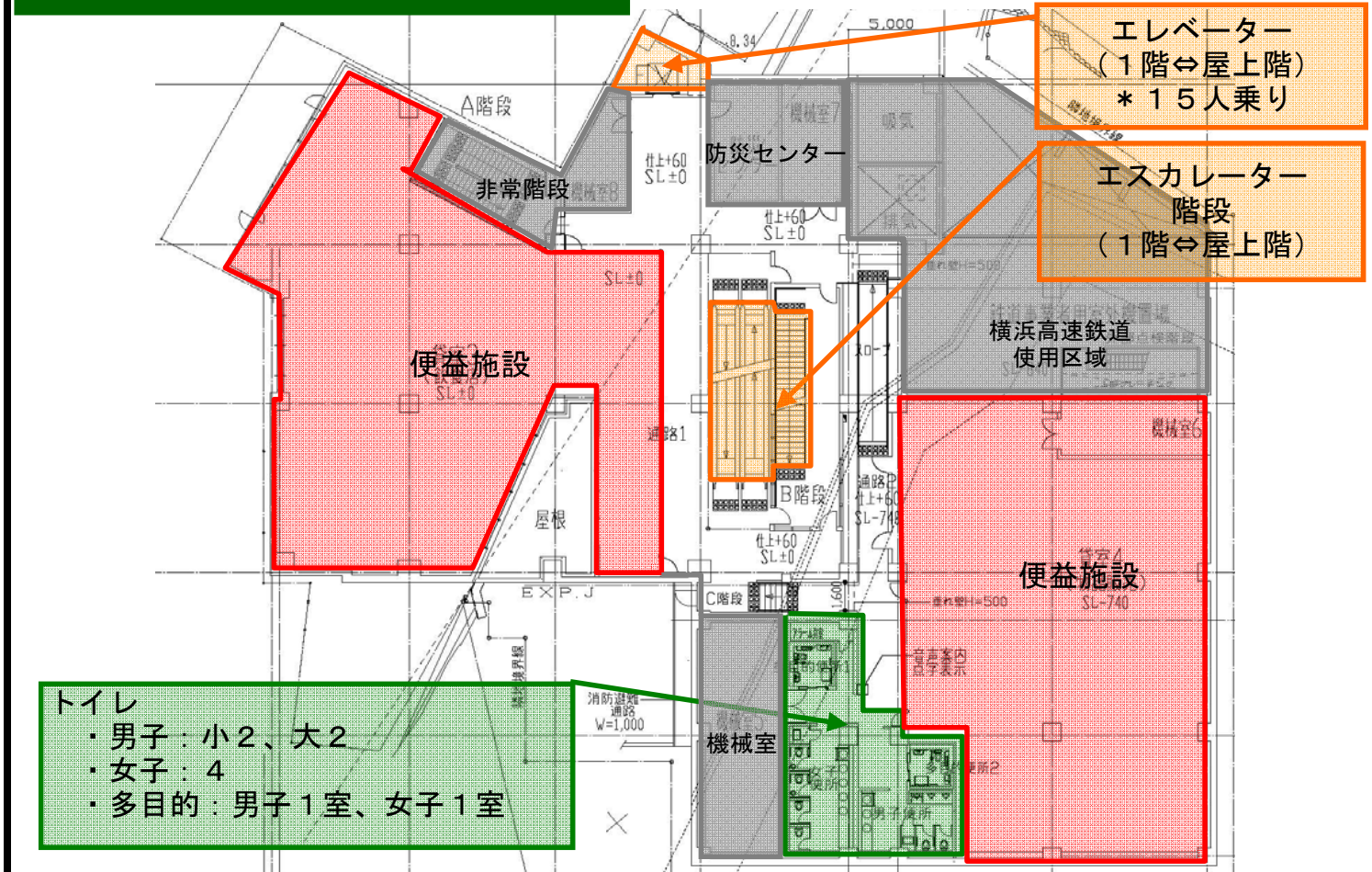
1 階



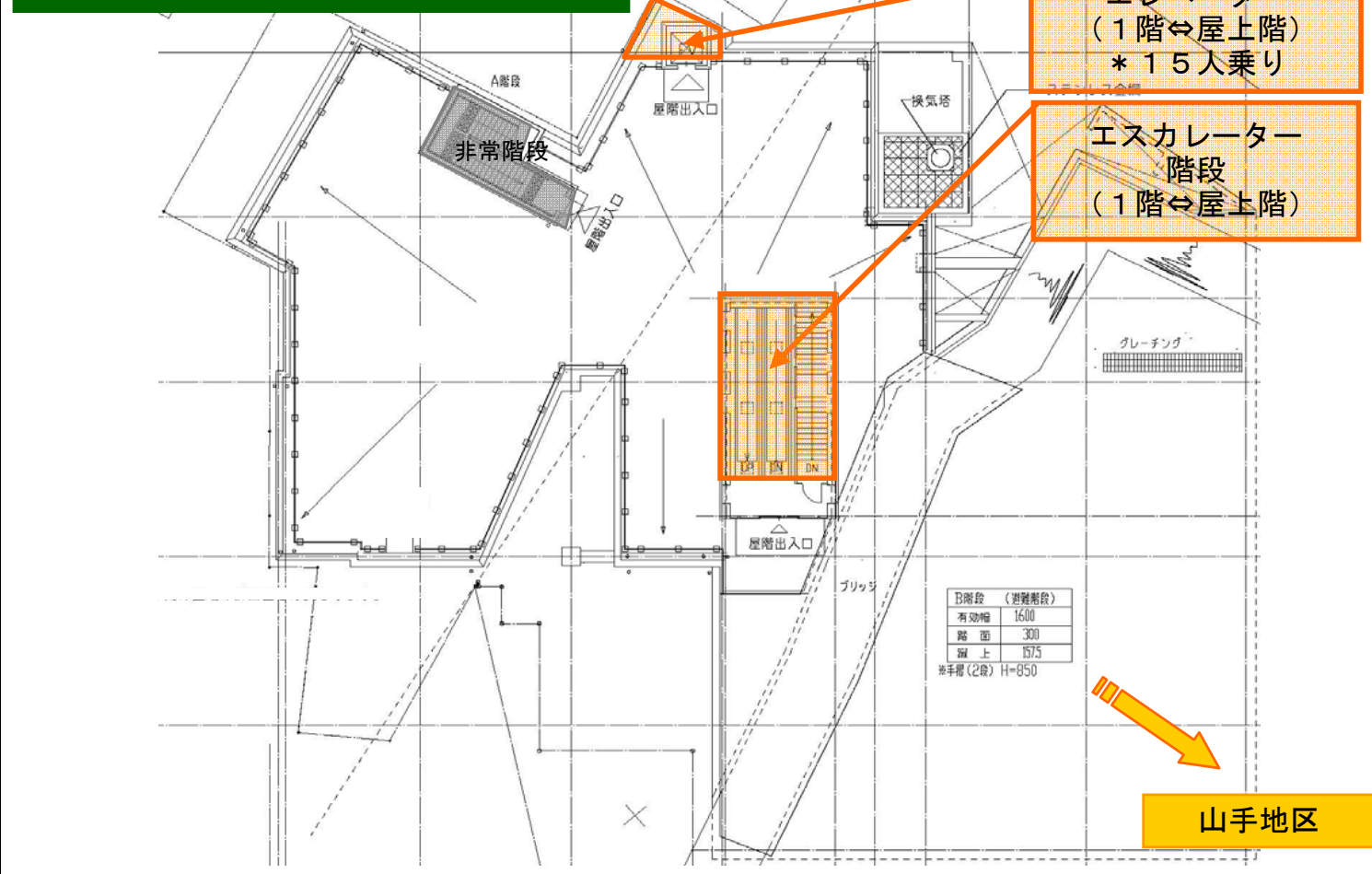
3 階



4 階



屋上階





展望園地と 便益施設・体験学習施設・集会施設が一体化した 全国初の立体都市公園

立体都市公園とは

用地確保が難しい都市部で、建物的一部分や屋上などを利用して整備された公園。アメリカ山公園は、都市公園法改正により立体都市公園が制度化されて以来、初の実施事例として2012年4月に全面オープンしました。



みなとみらい線 元町・中華街駅6番出口

港の見える丘公園、外国人墓地、山手西洋館方面へ



園地

元町・中華街駅と山手地区間の移動にはアメリカ山公園内のエレベーター、エスカレーターが便利です。



ラヴィ・ファクトリー 幸せの瞬間をお写真に

ご結婚やご家族の記念日など、お写真についてぜひご相談ください。その日一日が大切な思い出となるよう、スタッフ一同、精一杯お手伝いさせていただきます。

Tel 045-228-1148

<http://www.la-viephoto.com>

*この施設は都市公園法上の便益施設として取り扱っています。



4 F

小さな結婚式 季節に応じてガーデンウエディングも

スタイルの異なるふたつの式場と、ハートの明かりが幸せを包むバンケット、そして心のこもったお料理。結婚式以外の一般のご会食も承ります。(要事前相談)
Tel 045-227-8230
<http://petitwedding.com>

*この施設は都市公園法上の便益施設として取り扱っています。



アメリカ山 ガーデン アカデミー 学童保育・親子広場

小学校 1 年から 6 年生までの学童をご家族にかわってお預かりします。ニーズに合わせた 4 つのコース。親子・大人のための体験学習プログラムも豊富です。

Tel 045-651-6558

<http://gardenacademy.jp>

*この施設は都市公園法上の体験学習施設として取り扱っています。



3 F

アメリカ山徳育こども園 横浜市認可保育所

豊かな自然と国際的な地域環境に恵まれた、こどもたちの笑顔あふれる保育園。生後 57 日から 5 歳児までの通常保育・障害児保育・一時保育を行っています。

Tel 045-663-8737

<http://americayama.jp>

*この施設は都市公園法上の体験学習施設として取り扱っています。



みなとみらい線 元町・中華街駅 5 番出口

港の見える丘公園、元町商店街方面へ

横浜から元町・中華街駅までみなとみらい線で約 10 分。みなとみらい線は東横線と相互直通運転しています。



1 F

ハロー貸会議室 全日 8:00~22:00

都心からのアクセス抜群なみなとみらい線元町・中華街駅より徒歩 0 分。リーズナブルな価格設定で設備も充実。33 名・45 名の 2 タイプからお選びください。

Tel 0800-900-8186

<http://www.hello-mr.net>

*この施設は都市公園法上の集会施設として取り扱っています。





米国公使館ゆかりの地であることから名づけられた
 「アメリカ山」は、異国情緒漂う山手地区の一角にあります。
 高台にひろがるこのまちは人気のお散歩エリア。
 アメリカ山公園内のエスカレーターやエレベーターを利用すれば
 こどもからお年寄りまで、どなたでもらくらくアクセスできます。

芝生広場

ご利用案内

開園時間：6:00～23:00

3・4階設備：男女トイレ（ベビーチェア付）

多目的トイレ（車椅子、オストメイト、ベビーシート）

自動販売機（飲料）

＊ 建物内禁煙。ペットはキャリーバッグ等へお入れください。



クリスマス・イルミネーション



- ① 神奈川県立近代文学館
- ② 大仏次郎記念館
- ③ 山手 111 番館
- ④ イギリス館 ⑤ 岩崎ミュージアム
- ⑥ 横浜地方気象台 ⑦ 山手資料館
- ⑧ プリキのおもちゃ博物館
- ⑨ 山手聖公会 ⑩ 山手 234 番館
- ⑪ エリスマン邸
- ⑫ ベーリック・ホール ⑬ 猫の美術館
- ⑭ カトリック山手教会
- ⑮ テニス発祥記念館
- ⑯ ブラフ 18 番館 ⑰ 外交官の家



神奈川県立近代文学館。
近くには大仏次郎記念も



平日には一般公開される
横浜地方気象台



大正末期に建てられた西洋館
エリスマン邸



横浜市指定の歴史的建造物
山手聖公会



アメリカ山公園運営管理事務所 http://www.seibu-la.co.jp/mt_america/
 〒231-0861 横浜市中区元町 1-11-3 TEL 045-232-4661（土日祭日除く）
 E-mail info-mt_america@seibu-la.co.jp FAX 045-232-4662
 管理運営事業者：アメリカ山公園パートナーズ 代表企業 西武造園株式会社
 構成員企業 横浜緑地株式会社